

## 環境、いま私にできること

12月1日、市民会館周辺と市役所会議棟で「環境、いま私にできること」をテーマにえな環境フェア2007が開催され、多くの人でにぎわいました。

これは、日々の生活の中で一人一人が環境のために行動することの大切さを理解してもらおうと開かれ、市民団体、事業所、行政など35の団体による、「観て、聴いて、体験できる」ブースが展示されました。会議棟会場では環境カウンセラー杉山範子さんによる講演会も開かれました。



メイン会場となった市民会館

## 日本一の炭焼き窯が完成

12月1日、奥矢作レクリエーションセンターで大型流木炭化窯の完成披露と、炭焼きに親しむ「奥矢作森林フェスティバル」が開催されました。この大型流木炭化窯は、流木を長さ9尺までそのまま入れることができ、容量は約600立方尺という炭焼き窯としては日本一の大きさを誇ります。会場では、炭焼きに関する講演会やダム見学のほか、炭焼きのアユや五平もち、焼いも、無料配布された豚汁などを味わうことができ、多くの人でにぎわいました。



大きな炭焼き窯の入口に驚く親子づれ

## 青空の下で棚田石積み塾



石積みの技法を学ぶ受講生たち

11月24日・25日、恵那市坂折棚田保存会と山里文化研究所の主催による、第2回「坂折棚田石積み塾」が中野方町の坂折棚田で開催されました。

これは、同町にある棚田の美しい景観を後世に残そうと取り組まれているもので、作業には地元の石工が指導にあたりました。

同塾には市内外から12人が受講し、受講生たちは昔から伝わる石積みの技術を熱心に学んでいました。

## 恵那東中学校に防災倉庫



設置資材による炊飯体験

大井町自治連合会と大井町まちづくり協議会では、住民自らが住民の生命・身体・財産を災害から守るため、また災害時の被害を軽減するため、11月27日、恵那東中学校に防災倉庫と救出用工具などを設置しました。これらの整備は、消防庁の平成19年地域安心安全ステーション整備モデル事業として行われ、購入には宝くじの売り上げの一部が充てられています。今後、自主防災組織の育成、地域住民の自主防災意識の高揚に役立てられます。

## 地元米で杵つきもちを体験

11月24日、アグリパーク恵那で杵つきもち体験が行われ、市内の親子連れ14人が参加しました。これは、市内の農業女性団体らが構成するアグリエンジョイネットが、地域の伝統的な食文化を楽しみながら多くの人に伝えようと開催しました。この日は、長島町産のもち米を使って杵つきを体験。慣れない手つきながら、親子でもちつきを楽しみました。また中野方町産のサトイモを使った「いもごね餅」も作り、炭火で焼き上げて味わいました。



重いきねを使ってもちつきを体験する親子

## 第5回下田歌子賞表彰式

11月24日、「第5回下田歌子賞」表彰式が岩村公民館で開催され、約250人が訪れました。今回は、「忘れられない家族の言葉」、「私をカブってくれた、あの一言」、「ほめられたこと、しかられたこと」をテーマにしたエッセイと「あなたが選ぶ市の新名所」の写真を募集。全国各地から647作品が寄せられ、厳正なる審査の結果、三宅嘉寛さん（大井町）の「辰巳の風は恐ろしいよ～江戸時代に生まれた祖母の言葉～」の最優秀賞をはじめ30人が受賞しました。



各都府県で入賞した皆さん

## 三郷小児童がビオトープ造り



ビオトープへの通水を喜ぶ児童

三郷町野井にある不耕起実験田の一部で11月20日、三郷小学校4～6年生の自然郷土クラブ児童17人がビオトープ造りをしました。このビオトープは、水田の水を温めるための緩衝区域を利用して、動物や植物が共生できる自然環境の場を作るものです。児童は、まもろ米研究会からの協力を得て、水を浄化する「石膏」をはじめ、『水仙』や『彼岸花』など球根500株を植えました。ビオトープへの通水も行われ、児童からは喜びの声が上がっていました。

## 時を超える大正の音色



蓄音機などの懐かしい音色に耳を傾ける皆さん

大正百年となる2011年に記念事業を計画する日本大正村では、機運を盛り上げるため、11月23日、24日、第1回大正文化祭を開催しました。

大正ロマン館では、大正天皇ゆかりのピアノによるコンサート、大正村に展示される蓄音機などの懐かしの楽器コンサート、恵那南高校ギターマンドリンクラブによる演奏会が開催されました。

蓄音機が奏でる時を超えた懐かしいメロディに訪れた皆さんは、熱心に耳を傾けていました。

## 「所蔵名品展」 - 明治・大正・昭和の作品を中心に -

中山道広重美術館  
展覧会

**会期**  
1/4(金) ~ 4/6(日)  
**開館時間** 午前9時半  
~午後5時(入館は午後4  
時半まで)  
**観覧料** ▷大人=500円  
(団体400円) ▷小・中・高  
校生=300円(団体240円)  
毎週月曜日(祝日を除く)、  
祝日の翌日(土日・祝日を除  
く)休館。12/25(火)~1/3(水)  
は年末年始のため、2/4(月)  
~6(水)、3/3(月)~5(水)は展  
示替えのため休館します。  
1/7(月)は特別開館  
**問い合わせ** 中山道広  
重美術館☎20-0522



荒川豊蔵  
「光悦翁之図」  
紙本墨画淡彩  
1936(昭和11)年

桃山陶の再興に生涯を費やした、岐阜県多治見市出身の荒川豊蔵(明治27(1894)~昭和60(1985)年)は、陶芸のほかにも多くの絵画作品を残しています。ここに昭和11(1936)年の年紀がある「光悦翁之図」を紹介します。

「光悦」とは本阿弥光悦、桃山から江戸初期を代表する芸術家です。画中には「訪洛外鷹峰太虚庵 憶光悦翁」とあります。光悦は、家康から与えられた洛北鷹峰の地に太虚庵を結びました。また光悦村(芸術村)を作り、職人や文化人らと独自の芸術活動を行いました。桃山陶の美と文化を見出し探究した豊蔵が、桃山から江戸初期の文化を牽引した光悦を想い描いた本図は、まさに豊蔵の美意識と芸術観を物語る一品であります。

75歳以上の方全員が対象<sup>1</sup>

平成20年4月から後期高齢者医療制度がスタート

現在75歳以上の方全員が加入する「老人保健制度」が、平成20年3月末に廃止され、4月から「後期高齢者医療制度」が始まります。

75歳以上の方全員が加入する医療保険

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方全員に新たに保険料をご負担いただく医療保険制度です(医療機関で医療を受けた際の本人負担はこれまでどおり必要)。これは、老人医療費を中心に国民医療費が増大する中、医療保険制度を将来持続可能な制度にするために必要な見直しとなります。

保険料は年額約66,000円(県内平均)

後期高齢者医療制度で負担いただく保険料は、「均等割額」と「所得割額」の合計となり、県内統一の基準で2年ごとに更新されます。平成20・21年度の年間保険料率は次のとおり定

1 = 65歳以上の一定の障害のある方を含む

められました。

均等割額 = 39,310円 所得割率 = 7.39%  
県内の平均保険料 = 年額65,850円(月額5,488円)

制度運営は岐阜県後期高齢者医療広域連合

後期高齢者医療制度は、県内全42市町村が加入する岐阜県後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、市は保険料の徴収や窓口業務(申請・届出の受付など)を行います。

制度の詳細は、今後、本紙に掲載するほか、市内各地で説明会を開催します。ご不明な点、お問い合わせください。

**問い合わせ** 市高齢福祉課☎26-2111(内線123・124)、岐阜県後期高齢者医療広域連合☎058-387-6368

## 市中央図書館でクリスマス

市中央図書館で12月9日、市中央図書館サポーターによるクリスマスイベント「図書館でクリスマス」が開催されました。図書館内を会場とし、約500人がクリスマスにちなんだコーナーを楽しみました。「外国のクリスマス」では、イギリス出身のロバート・ジョーンズさんが母国のクリスマスの様子をユーモアいっぱいに話しました。イギリスでは、「クリスマスの日には学校や仕事は休みになる」など文化の違いを学びました。



イギリス出身のロバート・ジョーンズさん

## 宮嶋さんが1日警察署長

大井町出身で、NHK連続テレビ小説「ちりとてちん」に出演中の宮嶋麻衣さんが12月9日、恵那署の1日署長に委嘱され、年末年始交通・地域安全大会の一環として、市内で防犯や交通安全を呼び掛けました。恵那スケート場ではトークショーが開催され、役者を目指したきっかけや、「ちりとてちん」にまつわるエピソードを話しました。また自転車通学をした学生時代や現在の一人暮らしの経験から、事故の恐ろしさや防犯の大切さを述べました。



安全グッズを紹介する宮嶋さん

## 華麗で迫力ある山岡歌舞伎



練習の成果を披露する山岡こども歌舞伎教室の皆さん

12月2日、山岡歌舞伎保存会の主催により、第13回山岡歌舞伎公演が、山岡農村環境改善センターで開催され、約400人の観客が歌舞伎を楽しみました。公演の第1部では山岡こども歌舞伎教室の皆さんによる発表があり、第2部では、一般募集と山岡歌舞伎保存会の会員らによる演技が披露されました。華麗で迫力のある演技に、訪れた観客からは大きな拍手とともに、多くのおひねりが投げ入れられました。

## 城下町で健脚を競う



勢い良くスタートする参加者

第20回女城主・渡辺美佐子杯2007いわむらマラソンが12月2日、岩邑小学校を発着点として開催されました。今回は第20回を記念して、これまで一部に限っていた男性の参加が全部門で認められました。

県内外から約500人の参加者が集まり、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、「美しい日本の歴史的風土100選」にも選ばれた古い町並みが続く城下町や「日本一の農村景観」を楽しみながらゴールを目指しました。